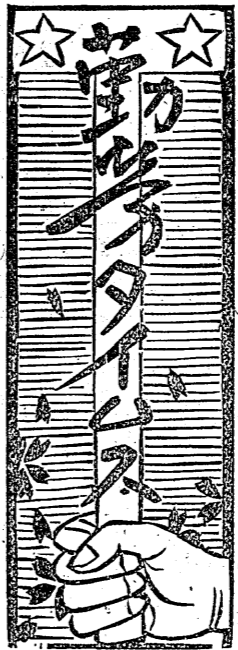


旬刊



毎月二回一日一五日発行
定価 一冊二十五銭
一ヶ月五十銭
一ヶ月指定五十銭増
廣告一行一四
編者 藤野野矢
編輯部 藤野野矢
印刷部 藤野野矢

衛生施策強化に

各区内に組合設置

一 夏季悪疫の脅威に
二 平市民協力せよ

平市常會は去る五月二十五日市常會堂日本間に於て開催し平區裁判所監督判事岩佐國氏を常會顧問に推挙し

に留意すること
(2) 煙突の煤拂を勵行すること
(3) マッチ及火氣の始末をよくすること
(4) 防火用水並に防火用具の常備實行のこと
衛生組合設置に關する件

平市内第二十八區
子供會を催す
席上戰災者海外引揚者
遺家族を招待

勤勞青年
文化聯盟を
結成

最近國民一般の視線は専ら時に喪はれるかを忘れがら食糧問題にあつてゐるで市民の衛生思想をこの際が一方追々夏季に向ふに従高めることが大切であるとして傳染病の脅威に一般民同時に市當局者や健康保險居住區氏を常會顧問に推挙しは切實に感じなければならぬ組合並に防疫に協力するもた外

平市常會は去る五月二十五日市常會堂日本間に於て開催し平區裁判所監督判事岩佐國氏を常會顧問に推挙し

一、食糧増産の指導推進の件
二、空地利用食糧増産指導に關する件
三、消費節約に關する件
四、隱匿物資供出促進の件
五、火災豫防に關する件
六、竈風呂場等の取片付

終戦後難多の企てが各市町を是することであらう村に思ひ／＼に計劃されてゐるが而して夫等の多くは大日本位の企てであつて第二國民たるべき子供等は全く閉却され獨り娛樂氣分から取り残されて居る、茲に平去る廿六日平市搔植小路石市第二十八區で眼をつげ去城産婆看護學校に於て各地廿六日午後四時より高木區勞組文化部及各地文化團體長宅に班長會を開き協議の代表者が參集し勤勞青年文結果近く平市公會堂日本間化聯盟の結成式を開いたがに於て區内の子供を招き童聯盟には創作部、藝能部、謠、遊戯や對話、劇其他可カメラ部、辨論部、體育部、娛樂部を設け活潑なる運動を展開すること

勤勞青年
文化聯盟を
結成

社説
猛然と起て
青年諸君
何時の時代も青年の時代である！
終戦後の社會は全く行詰つてゐる、政治家も事業者も實業家も皆行き詰つてゐる、見よ政府は吾人の生存に大なる幸福を與へず、實業家また眼前の小利にのみ汲々として産業の大策を忘御してゐるではないか、海外引揚者や罹災者は就業出來ず失業を講せず知らぬ顔をしてゐる當局これに對し國民

の生存に大なる幸福を與へず、實業家また眼前の小利にのみ汲々として産業の大策を忘御してゐるではないか、海外引揚者や罹災者は就業出來ず失業を講せず知らぬ顔をしてゐる當局これに對し國民

を省み青年の意志金鐵の如きものあらば天下何事と雖も不可能の事なきを想到する、我が平市並に石城郡下の青年よ共に手を携へて新日本建設のため吾人同胞の共存共榮のために固き信念を持つて進もうではないか

平市内第二十八區
子供會を催す
席上戰災者海外引揚者
遺家族を招待

勤勞青年
文化聯盟を
結成

釜屋
電話九番九九番

儀量の鏡

新日本同胞愛の

第一少者

人呼んで其名を (川徳)と云はば 三才の童兒も知る水戸北部海岸切つての男立本名川知徳一氏は水戸地方より流れ、平市に踏み止まり眼を點して市内並に市外在都の状況を視るに不良者の往行其他我が身動きを知り他人に迷惑を興ひる如き事を以て仕事の如き然かも其常習者の多きに顧み茲に川徳氏は世界的同胞愛を痛切に志し一身一命者を投じて廣く海岸全面の市町村並に悪徳のむれに飛び込み日本民族の人道を説得し不良男女を善良に導くと共に悪徳者をして同胞愛の厚きに導き目下の海岸地方に於ける悪徳者、不良者の頭角を消し親方川知徳一に並で平和なる同胞愛の市町村を造擧げたる事は廣く民衆の悦びとす處、同事に如度何に川知徳一氏の儀量的指導が其効を爲したるか一般海岸人の知る處であるまいか、同事に主者川知氏も一と安心する間も無く國家の

縮出された失業者 「眞面目に働けぬ」わけはこれ 平勤勞署窓口に掲ふ

依り一部食糧増産に當同胞生活の一部を解決し以て同胞愛助け可く事業を始め昭和二十年十月より今月に至り至く七ヶ月の長期に亘り堂々完成したる面積二町歩の多きに至り此の資金二萬圓以上投じた事は之又政治上の男で有る事を信じて餘りあるであらまいか

こと、通勤であること等のを以て下げ戻し定期預金のある難しい條件で所謂家族を引連れて路頭に迷ふ眞の意味種に依り取扱ひ居るが、何業者でないものには堅く門を閉ざすこと云ふ全く封鎖國に飛びはなれたる營業振りは融の王と見る可きであり又一般商人其他の皆様も進んで利用すべきであるまいか

磐城スポーツ便り
来る六月二日午後一時より磐城スポーツ聯盟主催で短縮マラソン大會を開催するが出發點は平市常陽銀行前で申込は當日限りであるが更に五日、九日午前八時より全磐城排球大會を平女校庭で開催し、尙ほ九月上旬には片濱廻り驛傳競争が行はれる豫定であると

依り一部食糧増産に當同胞生活の一部を解決し以て同胞愛助け可く事業を始め昭和二十年十月より今月に至り至く七ヶ月の長期に亘り堂々完成したる面積二町歩の多きに至り此の資金二萬圓以上投じた事は之又政治上の男で有る事を信じて餘りあるであらまいか

大東無盡株式會社
金融利用の便宜
大東無盡株式會社の營業は目下新圓の募集中なるが此金融状態を視るに五千圓口參千圓口との二種で一人で幾口も加入出来る、又普通預金積み下げの如きは新圓

リツグサック
ランドセル
各種テント
仕立引受ます

大島テント店
平市六丁目

平市警察署前

高木代書事務所
自宅 平市小太郎町

小名濱町本町

清水屋
電話 六番

臺所の味方たる 女代議の批判を

一般民の聲に聞く

今年四月施行せられた代議に集合し先に選挙民に呼び士總選挙の折、福島縣出身かけた言語を無視して甚だ婦人候補者集合して平市第敷きわ老少年者は一日二食三學校に於て演説會を催して生活したる如き論を發言の吏員が砂利を喰た、又町村は其席上に於て婦人候補居るが如きは選挙民をして若し我れ婦人が皆様愚弄するも甚だしと前者はた愈々此の上は人間に脚徒の御引立に依て當選の上は立腹又復者は我れ男子が婦歩を統制せられ、四足徒歩我々わ婦人なる故に臺所の入に愚ろうされたが、婦人で馬と成らうやわある味方です、中央壇上に登るにをどる我が男子之を以てまいが新日本人は前途英語事が出來たら第一取る可也、我が帝國は愈々文化を習へど毎月の夜のラジオ政治の折柄痛切に感するも、男女同權に足ると悦若し馬となつたら何語を以て進歩だ共産だ皆何事も協力だ、日進坊すの手にかゝり

行く先きやみどわ心細ひであるまいか、其上近頃最寄々々の流説に山海の雜草以て人間主食の代用とするて目下各市町村に其割當、學校兒童は今採草の真さい中と聞く、古今の説に有會社重役が鐵道を喰た、又町村大臣が鐵道を喰た、又町村喰ふ事は今始めて耳にし喰ふ事此の上は人間に脚徒の御引立に依て當選の上は立腹又復者は我れ男子が婦歩を統制せられ、四足徒歩我々わ婦人なる故に臺所の入に愚ろうされたが、婦人で馬と成らうやわある味方です、中央壇上に登るにをどる我が男子之を以てまいが新日本人は前途英語事が出來たら第一取る可也、我が帝國は愈々文化を習へど毎月の夜のラジオ政治の折柄痛切に感するも、男女同權に足ると悦若し馬となつたら何語を以て進歩だ共産だ皆何事も協力だ、日進坊すの手にかゝり

文藝漫畫

大黒王の世界一廻

東條も何の清氣とヒットライ
ムツリ立てにや笑ひ
眞中腕を呑みほして
シンガホームに着いた秋
ハイ愛ひと手を出して
ルズの河を渡らん
ベルトに巻かれ
マツカサ澤にと落され
二三ツ、なめて氣が付
ひて
クンヘリンで逃げ出し
フツフツイン度にたどり
付き
チャンドラボウズの案内
アンボン顔で
ニキギニア
ヤツブ島やらニヤン島

巷の聲

トラック島に乗り廻り
途ひに硫尾を驅られ
沖繩かけてつき出され
ずらりとならぶ
サイバイ島
狐のつかれわとこでぬく
假令五百圓取れたとしても
子供三人の五人家族として
湯銭丈けでも月八十七圓、
野菜代最少限度に見積つて
一日十圓と見て月三百圓に
なるから月三百圓の月給
取りでは野菜代がやつとで
米は一粒も買へぬ勘定にな
る、如何に經濟取つても物
價高の今日では經濟の取り
様術もないと、せめて出廻
り盛んな二耗作の野菜でも
順調に配給でもしてくれ
どか、大漁積みのリンクの
魚でも隔日に適正なる配給
日には、昂る物價と諸經費
匙を投て背息低息である、
殊に月給生活者は五百圓生
活とは一体何が基準なのか
腑に落ちない、月給が五百
圓取れるなら又しも三百圓
そこ／＼の月給では五百圓
生活は唯々夢見るばかり、

生き料肥に付て

素である事より志したのはらば食物には勿論ならず食此生き料ですが一般の皆して効無く害となり、
様は腐敗したる物を肥料と此意味に於て考へて見ても
爲すものど心得て居る様で納豆は腐敗物に非らず熱度
が腐敗した物では肥料との合理的方法を以て製造し
して其効無く此腐敗物を生以て食糧として其効力を有
かしてこそ肥料の効力を有するもので有る事を御知り
らぬ、何と成れば納豆の如料所謂人糞の如きものも腐
敗物であるから其儘種物にひてびつくり玉手箱の様なり
たき一念です。

困り貫て居ります、依て我々わ婦人代議士に成る意味わ茲に有るのである、依て我々婦人代議士は全國選出者打て一丸となり飲米配給量一人三合論を主張し以て此議貫徹せしむるに死すも止まんどの好言を以て國民、所謂選挙民に呼びかけいざ當選する哉直ちに中央壇上

社長木村安次氏は現在の如く、
木村安次氏
勤勞タイムス社
我々婦人代議士は全國選出者打て一丸となり飲米配給量一人三合論を主張し以て此議貫徹せしむるに死すも止まんどの好言を以て國民、所謂選挙民に呼びかけいざ當選する哉直ちに中央壇上

危機迫る飢餓を どう乗り切るか

柿原金市氏語る

常磐線小川郷前前ヶ峯山
山株式會社社長柿原金市氏
は事業家として敏腕を振ひ
中村町原釜に於て漁業部山
上村では亞炭並にコーライ
ト製造に努め然も事業經營
方針は民主化に改革し隆盛
を基礎づけてゐるが氏は更
に政治經濟的方面に迷詣深
い人で新日本建設に際しこ
の難的をどうして乗り切るか
を語る

我々日本國民はお互に國
家の政策に應じてやる心
構が大切で隣組に預ける
配給又は申告の如きは最
も正しくすべきものであ
る、僕等の隣組は極めて
眞面目にやつてゐるが、
他の隣組などでは不正の
申告が多くて困つてゐる
と云ふことを屢々耳にす
る、わが國に於ける統制
經濟の政策の如きは米英
國に比べれば未だ一年生
の感が深い、僕等の小さ
い自分は洵に粗末で不自
由な生活に耐へ忍んで來

主義を排斥するものである
事業には金が必要ではある
が人間は金以上に大切であ
る、其の人間が動々もする
と金の力で無視されて居る
のが現状である、金をよく
に包んで神棚に上げて一
年間毎朝拜んで見ても一厘
一毛の利徳を生じない、全
く無力無勢力のもものでは
あるが其れに人間の力があ
ると大きな力となり、大き
な勢力となるのであるから
人間を第一位にしたる資本
主義でなければ本當の資本
主義とは言へないのである
新日本は協力の國である、
協力は心から始まらねばな
らぬ

平市内に 海外引揚

戦災者調査
平市内の戦災者並に海外引
揚者は五月十日現在で戦災
者八百二十三世帯、三千四
百一十一名、引揚者百五十七
世帯、五百六十名であるが
その内市内廿八區(大町、
中町、十五丁目、小太郎町)
の戦災者は七十九世帯二百
七十九名、引揚者十六世帯
五十五名である

新日本建設は 人間第一

資本制度を尊重するが資本

株式會社

大阪造船所 従業員労働組合

株式會社大阪造船所従業員
二百名は五月十七日を以て
労働組合を設置し組合長上
野忠信氏、副組合長田仲紀
正氏、荒川與一氏、書記長
小野崎義巳氏、外數十名を
代表して持憲並に生活保證
に付き七課目を擧げて目下
大阪本社に對し提出中なる
も此決果視る可きものあり

隣組婦人會

平市第十區第六班第二十一
隣組では隣組長木村久彌氏
外組内一同の者は種々相談
の上組内だけの婦人會を設
けた、婦人會長鈴木カネさ
副會長白石ヒロさんに決
り去る二十五日新發足した

農作物便り

今年は例外なる寒冷が春に
持越し農作物の冷害を安じ
られましたが安外にも其害
無く然かも會津地方並に田
村郡等の奥地に於ては五月
二十日前後に田植を始め例
年より四五日早く又一般馬
鈴齋、麥作の如きは又冷

害の支障無く例年同様の豊
作と見てさしつかいあるま

磐城自動車工業 株式會社

大 内 昌 吉
本社 平市正月町十九番地
電話 四九〇番
自 宅 平市立町一番地
電話 三七〇番

關内藥局

平市四丁目
電話 四〇番

關内油店

平市二丁目
電話 十六番



佛具造花店

神佛葬祭具、造花
平市四丁目 電話五十番

おでん ぶくべ 食堂

皆様の食堂
平市七丁目(發電所入口角)
齋藤角治

月刊 白鵝

書道誌
▼競書會員募集▲
見本十錢切手五枚封入
平市南町三〇
白鵝書道會
佐々木秋峯